

第27回国連CEFACTフォーラム会議報告

2016年4月20日～5月1日

ジュネーブ（スイス）

報告者：国連CEFACT日本委員会
一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会
菅又 久直

1. 会議日程：

4月20日（水） 東京発 ジュネーブ着
4月21日（木）～4月22日（金） 国連CEFACT総会
4月25日（月）～4月29日（金） 国連CEFACTフォーラム
4月30日（土） ジュネーブ発
5月1日（日） 東京着

2. 会議参加の目的：

国連CEFACTは、貿易手続の簡易化と電子ビジネスの促進、およびそれらに関するグローバルなポリシーや技術仕様の制定を目的として設立された国連組織である。

小生は、国連CEFACT組織の中で、手法技術分野およびサプライチェーン分野の開発に貢献するとともに、今後のアジアおよび日本における電子ビジネス関連標準の推進方策を見通すことを目的に、一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会の依頼により第22回国連CEFACT総会および第27回国連CEFACTフォーラムに参加した。

本報告は、国連CEFACTフォーラムの内、小生が主に参画した審議を中心にまとめたものである。

3. 第22回国連CEFACT総会：

総会の出席者は、欧州、北米、アジア、アフリカ 25ヶ国 及び4団体(ITC、UNCTAD、GS1、ISO) を含め、約40名及びUNECE事務局 5名 合計約45名であった。

うち日本代表団として以下3名が出席した。

石垣 充 日本貿易関係手続簡易化協会 業務部業務一部長
椿 弘次 早稲田大学 名誉教授
菅又久直 サプライチェーン情報基盤研究会 業務執行理事

主な審議事項は以下の通り。

(1) ビューロ副議長の選任

英国の Sue Probert が追加の副議長として選任された。

(2) 報告事項

- ・ 第21回総会以降の事案に関する報告

- ・ 活動に関するビューロ（議長及び福井議長）による総括報告
- ・ 地域レポート報告（アジア及びアフリカ）
- ・ 国連 CEFACT に関する他の標準化組織の活動報告

(3) 勧告および標準

- ・ ECE 勧告案「貿易円滑化における PPP」は UNECE 事務局の追加意見により、再度公開レビューを行う
- ・ ECE 勧告第 4 号「各国貿易円滑化組織」改訂は総会会期間にて承認
- ・ ECE 勧告第 40 号「コンサルテーションアプローチ」は前回承認後一部変更
- ・ EDIFACT 辞書 D15A および D15B を公開
- ・ コア構成要素辞書 D15A および D15B を公開

(4) 規約等の改正

- ・ 国連 CEFACT ビューロ選任手続
- ・ 国連 CEFACT の成果物に関する高位者のためのガイド
- ・ プロジェクトレビューとサポート規約
- ・ ドメインおよびドメインコーディネーター規約
- ・ 他の組織との Liaison の規約
- ・ 国連 CEFACT コミュニケーションチームの規約
- ・ UN/LOCODE Focal Point の規約
- ・ 公開開発手続に関する規約

(5) 貿易円滑化と電子ビジネスの支援に関する将来への挑戦

国連が示した 2030 年に向けた Sustainable Development Goal (SDG)に向け、国連 CEFACT も関係プロジェクトに力を入れて行く

(6) 国連 CEFACT の活動に関する戦略的枠組み

セマンティック・ハブとしての活動

(7) 国連 CEFACT 標準のローカライズ

中国の国連 CEFACT 成果物の翻訳標準を整備しているとの発言に呼応し、他の各国言語での標準の翻訳したものも含め、国連 CEFACT Web への掲載を進める。

4. 第27回国連CEFACT フォーラム：

29 カ国及び多数の国際機関（EEC, UNCTAD, WCO, GS1, IATA, IMO, ISO など）より、登録ベースで 145 名が参加した。アジアからは 8 カ国（日本、フィリピン、タイ、韓国、アフガニスタン、中国、ベトナム、インド）、日本からは次の 6 名が参加した。

石垣 充（日本貿易関係手続簡易化協会）

椿 弘次（早稲田大学 名誉教授）

鈴木 耀夫（NPO法人観光情報流通機構：旅行ドメイン）

堀田 和雄（NPO法人観光情報流通機構：旅行ドメイン）

遠城 秀和 (NTTデータシステム技術(株) : 品質評価コーディネーター)

菅又 久直 (国連CEFACT日本委員会・サプライチェーン情報基盤研究会)

フォーラムでは、PDA (Program Domain Area) ごとに会議が進められる。小生は、サプライチェーンPDAおよび手法・技術PDAを中心に参加した。

5. フォーラム審議報告 :

1. サプライチェーン PDA

サプライチェーン PDA (担当副議長は Raffaele Fantetti (イタリア経済開発省)) は、次の4つのドメインで活動している。

Finance and Payment Domain (リーダー : Lillianna Fratini Passi)

Procurement Domain (リーダー : Andre Hodevik, Bernard Longi)

Supply Chain Management Domain (リーダー : Karina Duvinger, Edmond Grey)

Transport and Logistics Domain (リーダー : Dominique Vankemmel)

今回は、Procurement Domain と Supply Chain Management Domain 合同会議、Supply Chain Management Domain の Scheduling Project、Supply Chain Management Domain の SCRDM Project、Finance and Payment ドメインの Remittance Advice Project 会議に出席した。

1. 1 Procurement Domain と Supply Chain Management Domain 合同会議

小生 (SIPS : 菅又久直) より、SIPS で進めている業界横断 EDI 方式の日本及びアジア地域への普及活動につき紹介した (添付1)。SIPS では国連 CEFACT 公開 XML メッセージを直接使用するのではなく、国連 CEFACT 共通辞書を核に、業務領域ごとに CCBDA (メッセージ構築法) に従って領域単位メッセージを開発し、登録・公開している。その方式は、AFACT を通じてアジア地域への展開も考慮に入れたものである。

当 SIPS 方式は、標準による相互運用性を確保しながら、標準の実践的で柔軟な運用法として参加者の興味を引き付けた。参加者からは、領域単位メッセージにつき英語版の公開を望む声があった。

1. 2 Scheduling Project

昨年11月の第26回国連 CEFACT にて、日本より提案したプロジェクト「CI-SC Scheduling Supply Chain (ジャストインタイム製造プロセス)」につき、初めての F2F 会議が行われた。本プロジェクトは、欧州の航空機製造組合 (Boostaero International Association) の提案により国連 CEFACT 標準となったスケジューリング方式によるサプライチェーン (需要予測 (Demand Forecast) に基づく供給指示 (Supply Instruction)) を、ジャストインタイム方式でも活用できるように拡張するもので、国内および海外現地取引を対象にした自動車部品メーカーを含む中小企業製造業の要望に応えるものである。

審議は、当方より提示した追加要求の内、電話会議にて課題となっていた項目につき行

われた（詳細は添付2参照）。審議の結果、「打ち切り区分（Truncation_Status.Code）」「打ち切り残数（Remaining_Requested.Quantity）」「端数区分（Fraction_Status.Code）」の業務上の意味を英語でどのように伝えるか、また「現品票（Logistics_ Identification Tag）」の情報構造につき国内の現行業務と整合性があるか等、持ち帰って更に検討する必要がある。

なお、本プロジェクトはビューローによる暫定承認の状況にあったが、今回の総会およびフォーラム期間中のロビイング活動により、オランダ（花市場への応用）、ドイツ（自動車業界との関連）、イタリアのプロジェクト支援を得ることができた。これによりプロジェクト3か国支援ルールをクリアし、正式な「業務要件分析フェーズ（Requirement Gathering）」に進むこととなる。

1. 3 SCRDM Project

SCM ドメインでは、受発注・出荷納入・請求支払で定義される各種メッセージを統合化し、プロセス間の情報連携をスムーズにできるよう、SCRDM (Supply Chain Reference Model) の策定と、その実証が進められている。

今回のフォーラムでは、SCRDM によるメッセージ（対象は CII: Cross Industry Invoice）の登録および公開の手順についてのプロジェクト提案について審議された。

課題は、SCRDM によるメッセージおよび情報項目（BIE）と、既存の共通辞書（CCL）に登録されている情報項目（BIE）を混合するか、または分離管理するかである。問題は、それぞれの情報項目により生成される XML スキーマは異なったものとなり、異なった XML スキーマ間の相互運用性について考慮されていないところにある。

1. 4 Remittance Advice Project

日本提案の本プロジェクトは、前回フォーラム（2015年11月）にて最終確認フェーズ（Project Exit）となっており、必要な関係情報項目（BIE）も2015年12月には共通辞書（CCL）に登録され公開されている。今回は、登録し忘れた一部の情報項目（3点のBBIE）を追加し、共通辞書2016年A版に掲載することが決まった。当状況に基づきビューローに対し、公開レビュー済の拡張版業務要件定義書（BRS: Business Requirement Specification）を国連CEFACT Webより公開するよう提言した。

2. 手法・技術 PDA

PDA 担当副議長 Anders Grangard (GS1) のもと、次の4つのドメインが活動を行っている。

Specification Domain（リーダー：Christian Huemer）

Syntax Domain（リーダー：Gait Boxman）

Library Maintenance（リーダー：Mary Kay Blantz）

Validation Domain（リーダー：遠城秀和）

本フォーラムでは、Library Review Project を中心に審議を行った。

2. 1 Library Review Project

本プロジェクトは昨年秋のフォーラムにおいて、全てのドメインより今後の国連 CEFACT 発行辞書についてのアンケート回答を受け、共通辞書および EDIFACT 辞書の現状について肯定的な回答があったものである。小生（SIPS 菅又）からは、SIPS 方式のレジストリの構築を提案しているが、受け入れられていない。

本フォーラムでは、共通辞書（CCL）が Excel 形式で、Computer readable でもなく、人目による理解も容易ではないとの認識から、新たな共通辞書公開フォーマット定義プロジェクトが提案された。Computer 用には XML4CCTS を使い、人目には HTML を採用しようとするものである。なお、本プロジェクトを進めるためには、少なくとも二つ以上のツールによるサポートと実証を必要とすることが条件になっている。

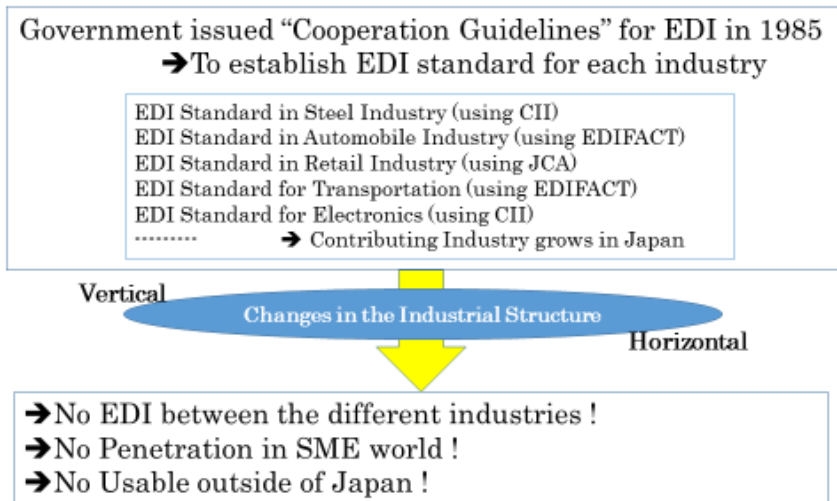
以上

CCL Utilization in Japan

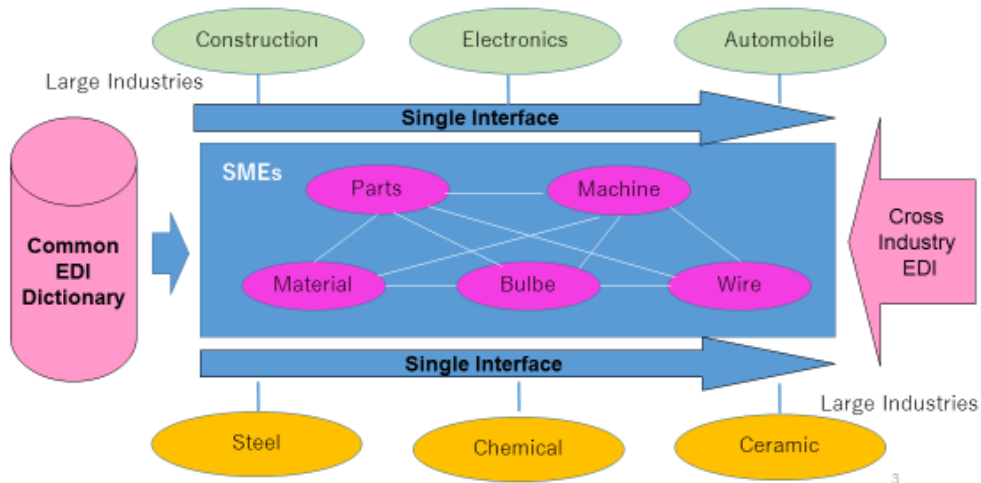
UN/CEFACT Forum 2016 April, Geneva
SCM & Procurement Domain

Presented by Hisanao Sugamata
Supply Chain Information Platform Study Group
UN/CEFACT Japan Committee

EDI Environment in Japan



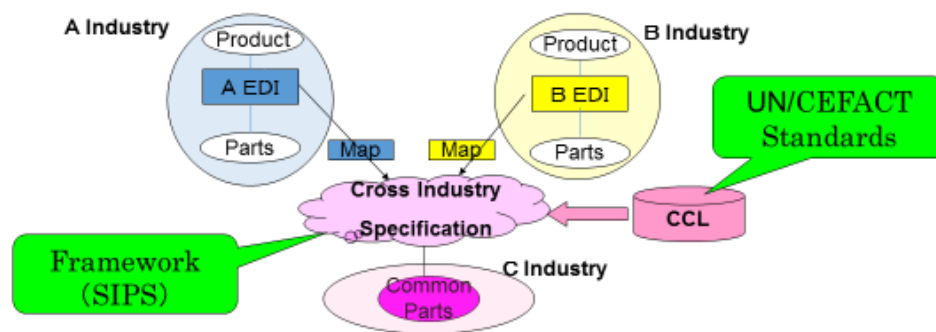
Governmental Project (2009 – 2011)
Establish the Business Infrastructure



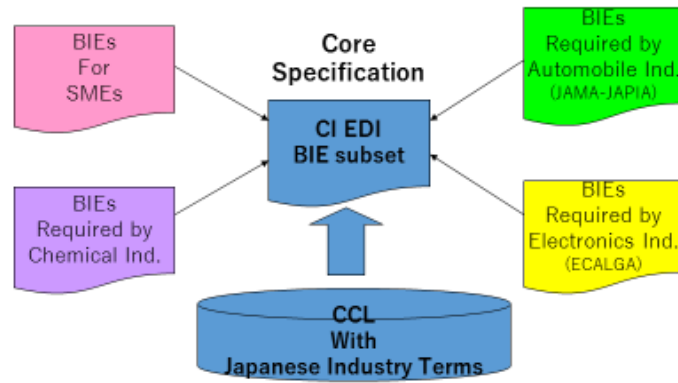
Cross Industry EDI Promotion

* SIPS Inherited the governmental project

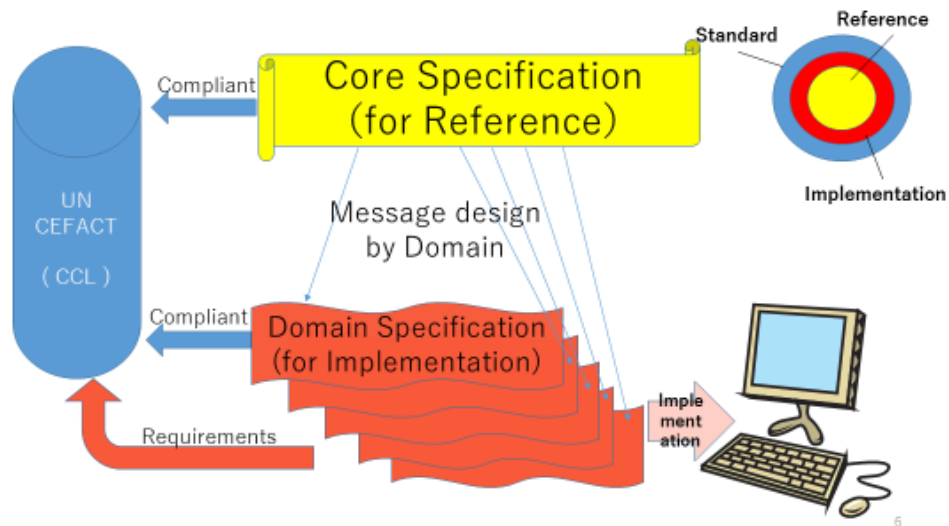
- Use Cross Industry EDI Specification for the EDI between the different industries.
- The industry standard EDI should be mapped to Cross Industry EDI Specification.



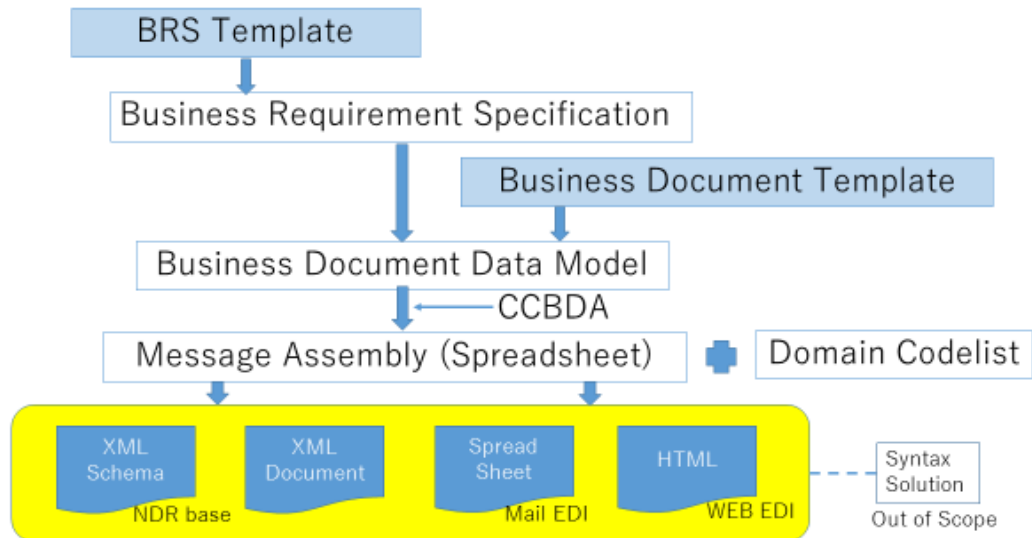
Semantic Comparison of Industry EDI in Japan



Corresponding to Domain specific requirement



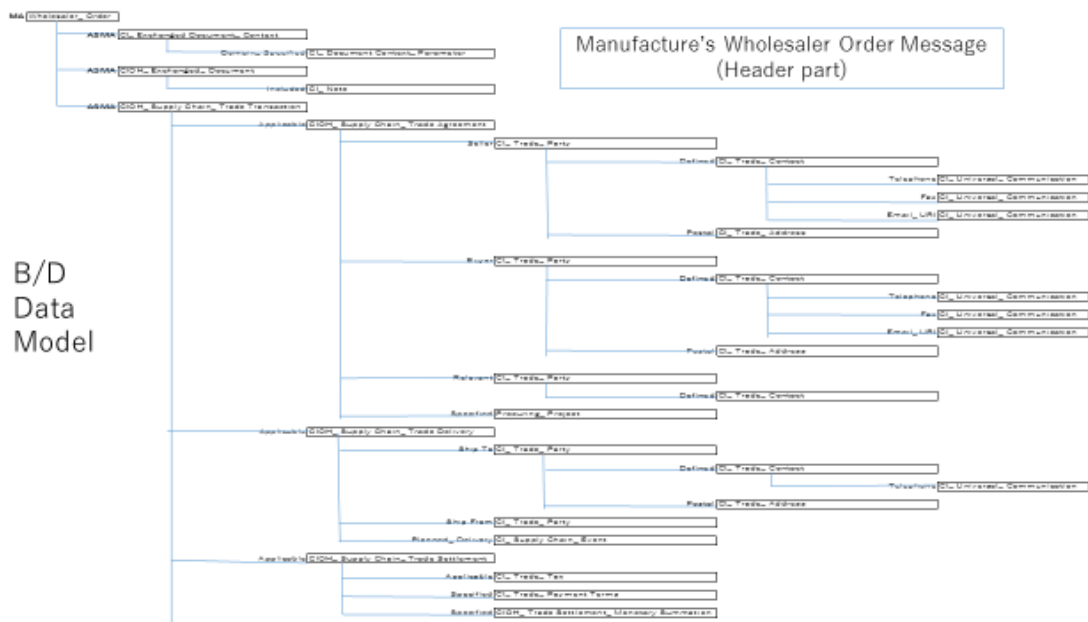
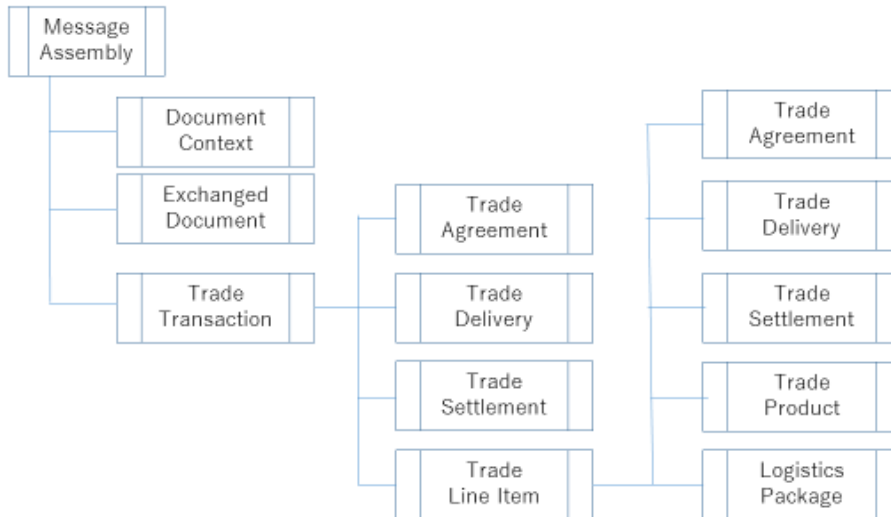
CI EDI Specification for Semantic Interoperability

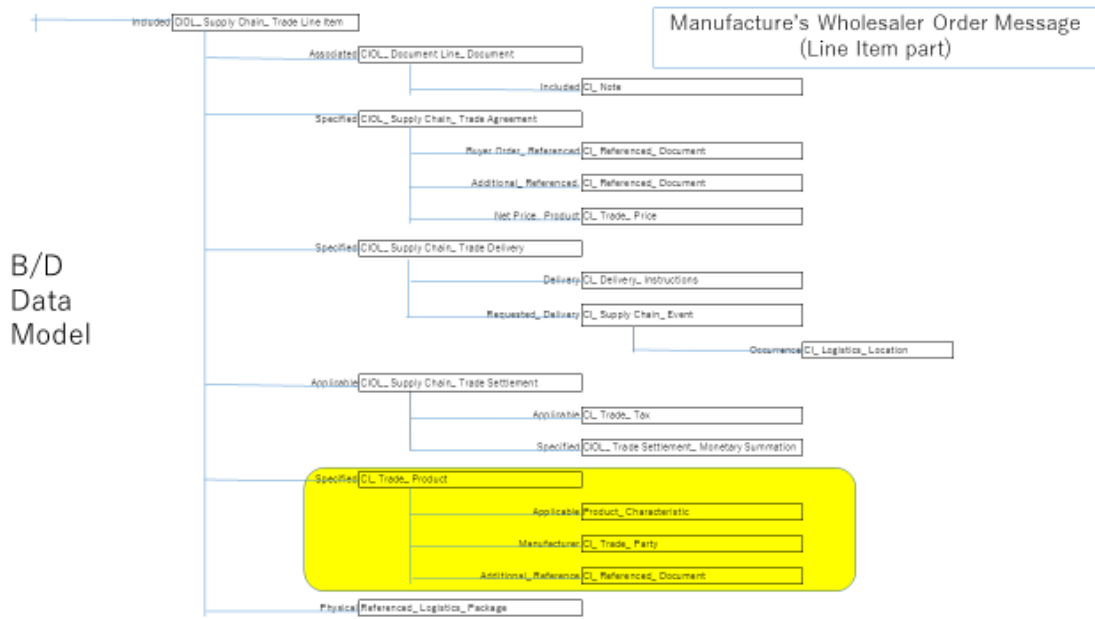


BRS Template

1. Objective and Scope
2. Domain definition
3. Transaction list
4. Business Process Definition
5. Use Case
6. Activity Diagram

Business Document Template





		Restrictions
BBE	CL_Trade_Product_Details	
BBE	CL_Trade_Product_Identifier_Identifier	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Global_Identifier_Identifier	
BBE	CL_Trade_Product_Seller_Assigned_Identifier_Identifier	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Buyer_Assigned_Identifier_Identifier	
BBE	CL_Trade_Product_Manufacturer_Assigned_Identifier_Identifier	
BBE	CL_Trade_Product_Name_Text	↔ Limited Occurrence (0..1)
BBE	CL_Trade_Product_Trade_Name_Text	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Description_Text	
BBE	CL_Trade_Product_Type_Code	↔ Specific Code list
BBE	CL_Trade_Product_Net_Weight_Measure	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Gross_Weight_Measure	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Drained_Net_Weight_Measure	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Brand_Name_Text	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Sup_Brand_Name_Text	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Product_Group_Identifier	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Area_Density_Measure	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Colour_Code	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Colour_Description_Text	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Use_Description_Text	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Designation_Text	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_End_Item_Name_Text	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Latest_Product_Date_Change_Date_Time	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_End_Item_Type_Code	Not Used
BBE	CL_Trade_Product_Variable_Measure_Indicator	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Applicable_CL_Product_Characteristic	
ASBE	CL_Trade_Product_Applicable_CL_Material_Goods_Characteristic	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Designated_CL_Product_Classification	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Individual_CL_Trade_Product_Instance	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Certification_Evidence_Reference_CL_Referenced_Document	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Inspection_Reference_CL_Referenced_Document	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Origin_CL_Trade_Country	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Linear_CL_Spatial_Dimension	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Minimum_Linear_CL_Spatial_Dimension	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Maximum_Linear_CL_Spatial_Dimension	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Manufacturer_CL_Trade_Party	
ASBE	CL_Trade_Product_NRDS_Reference_CL_Referenced_Document	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Additional_Reference_CL_Referenced_Document	
ASBE	CL_Trade_Product_Information_CL_Note	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Brand_Owner_CL_Trade_Party	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Legal_Rights_Owner_CL_Trade_Party	Not Used
ASBE	CL_Trade_Product_Presentation_Specified_Binary_File	Not Used

BIE → MBIE

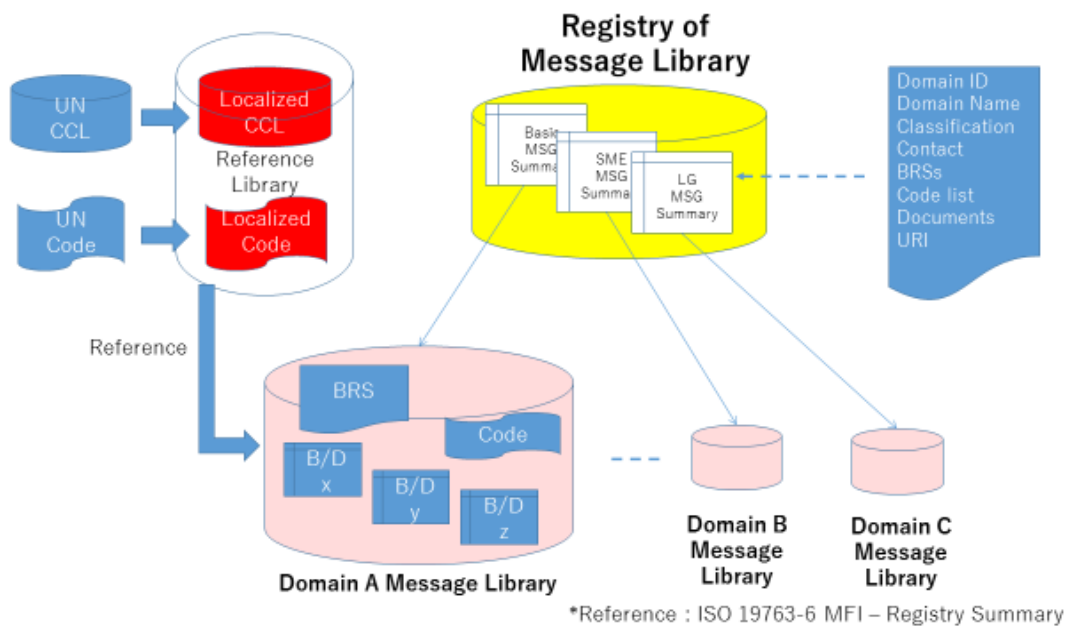
		Restrictions
BBE	CL_Trade_Product_Details	
BBE	CL_Trade_Product_Global_Identifier_Identifier	
BBE	CL_Trade_Product_Buyer_Assigned_Identifier_Identifier	
BBE	CL_Trade_Product_Manufacturer_Assigned_Identifier_Identifier	
BBE	CL_Trade_Product_Name_Text	↔ Limited Occurrence (0..1)
BBE	CL_Trade_Product_Description_Text	
BBE	CL_Trade_Product_Type_Code	↔ Specific Code list
ASBE	CL_Trade_Product_Applicable_CL_Product_Characteristic	
ASBE	CL_Trade_Product_Manufacturer_CL_Trade_Party	
ASBE	CL_Trade_Product_Additional_Reference_CL_Referenced_Document	

MA
Sample

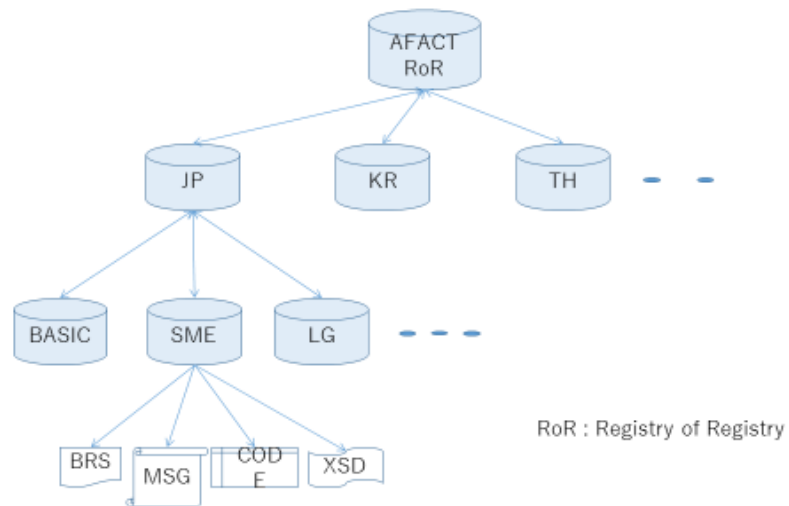
UNID	UBID	DEH (Dictionary Entry Name)	Business Term (Local Language)	Occurrence
	MA	Agricultural Machine Parts Order	農機機材点検メンテナンス	1
UN01005479	ASMA	CL Exchanged Document Context Details	取引交換内書交換	1.1
UN01005490	BBE	CL Exchanged Document Context Specified Transaction Identifier	取引交換内書	1.1
UN01005481	ASBE	CL Exchanged Document Context Business Process Specified CL Document Context Parameter	取引交換内書取引交換メンテナンス	1.1
UN01005471	ABE	CL Document Context Parameter Details	取引交換内書交換	1.1
UN01005472	BBE	CL Document Context Parameter Identification Identifier	取引交換内書交換	1.1
UN01005483	ABBE	CL Exchanged Document Context Scenario Specified CL Document Context Parameter	取引交換内書取引交換メンテナンス	1.1
UN01005471	ABE	CL Document Context Parameter Details	取引交換内書交換	1.1
UN01005472	BBE	CL Document Context Parameter Identification Identifier	取引交換内書交換	1.1
UN01005484	ABBE	CL Exchanged Document Context Domain Specified CL Document Context Parameter	取引交換内書メンテナンス	1.1
UN01005471	ABE	CL Document Context Parameter Details	取引交換内書交換	1.1
UN01005472	BBE	CL Document Context Parameter Identification Identifier	取引交換内書交換	1.1
UN01005473	BBE	CL Document Context Parameter Value Text	取引交換内書交換	1.1
UN01005517	ASMA	COHL Exchanged Document Details	注文発注交換	1.1
UN01005518	BBHL	COHL Exchanged Document Identification Identifier	注文発注交換	1.1
UN01005521	BBE	COHL Exchanged Document Issue Date Time	注文発注交換	1.1
UN01005528	ABBE	COHL Supply Chain Trade Line Item Specified CL Trade Product	注文発注交換取引交換メンテナンス	1.1
UN01005529	ABE	CL Trade Product Details	取引交換内書	1
UN01005513	BBE	CL Trade Product Buyer Assigned Identification Identifier	商品コード	1.1
UN01005514	BBE	CL Trade Product Manufacturer Assigned Identification Identifier	メーカー商品コード	1.1
UN01005515	BBE	CL Trade Product Name Text	商品	1.1
UN01005516	BBE	CL Trade Product Type Code	商品種類別コード	1.1

Domain Messages in Japan

1. SME messages
 - SME Common messages
 - Quote, Order, Delivery, Invoice
 - SME Manufacturing messages
 - Quote, Order, Delivery, Invoice
2. Manufacture's Wholesaler messages
 - Order, Delivery, Invoice
3. Project procurement messages
 - Quote, Order, Delivery, Invoice
4. Finance-Commercial collaboration
 - Remittance Advice
5. Local Government procurement
 - Order, Delivery, Invoice



AFACT RoR Future Image



Summary

- 1.CCL localization : Business term in local language
- 2.Define messages in each domain based on CCL
- 3.Registry mechanism for domain messages and code list
- 4.CCL and local requirements harmonization process

添付 2

CI-SC Scheduling Project meeting minutes

27th UN/CEFACT Forum in Geneva

25th – 27th of April, 2016

By Hisanao Sugamata

Attendees:

Edmund Gray, Karina Duvinger, Gerhard Heemskerk, Hisanao Sugamata, Mary Kay Blantz, Rolf Wessel, Jostein Fromyr, Pyctem Pehhatobny, Schuster Andreas, Nattthaphat Rojanasupamit

(1) Project status

The Bureau approved this new project pending three HoD support. (Report to HoD_Q1 2016)

Country positions are as follows as of 25 April 2016.

Japan : Supported

France : Started process to support

Netherland : Under assess

Germany : Under process to support

Italy : Support requested

(2) Requested Data Model

Hisanao explained the requested data model for CI-SC Scheduling.

See Attachment 1 for Demand Forecast and Attachment 2 for Supply Instruction.

(3) Discussion on the requested data model

a. CI_ Exchanged Document. Context

- “Domain” will invite confusion related UN/CEFACT Domain.
- 2 context parameters from the CCTS context category are recommended.

Industry and Geopolitical

b. CIS_ Document Line. Document. Suffix_ Identification. Identifier

- “Suffix” is incorrect word.
- It should be “Additional”.

c. CI_ Supply Chain_ Supply Plan. Scheduled_ Delivery. CI_ Supply Chain. Event

- CI_ Supply Chain. Event should have Identification. Identifier and Description. Text. (Those are already registered in CCL)

d. CISDFL_ Supply Chain_ Trade Line Item. Physical. Referenced_ Logistics Package

- Referenced_ Logistics_ Package should have Description. Text.
- e. CIS_ Exchanged_ Document
 - Document. Name. Text is requested.
 - Agreed Date may be specified in Trade Agreement.
 - Document. Purpose. Code can be specified by Context. Scenario. Clarify the requirement.
- f. CIS_ Supply Chain_ Trade Agreement. Order Price_ Product. CI_ Trade_ Price
 - Is it valid specifying Order Price_ Product at the supply instruction phase?
 - It depends on the trading convention.
- g. CISSIL_ Supply Chain_ Trade Delivery
 - What is Trancation_ Status. Code: It should be Truncation_ Status. Code. It means if the delivery is to be coming to the end or not.
 - What is Remaining_ Requested. Quantity: It means the remaining quantity when the delivery comes to the end.
 - What is Fraction_ Status. Code: It means how to treat the fraction of the quantity of the delivery batch
 - It is to be clarified the meaning of “Truncation Status”, “Remaining Quantity”, “Fraction Status”.
- h. Material Attached_ Identification Tag
 - The word “Attached” is not proper word for this situation.
 - We agreed to use the word “Logistics_ Identification Tag”.

See Attachment 3 for Logistics_ Identification Tag.

(4) The next step

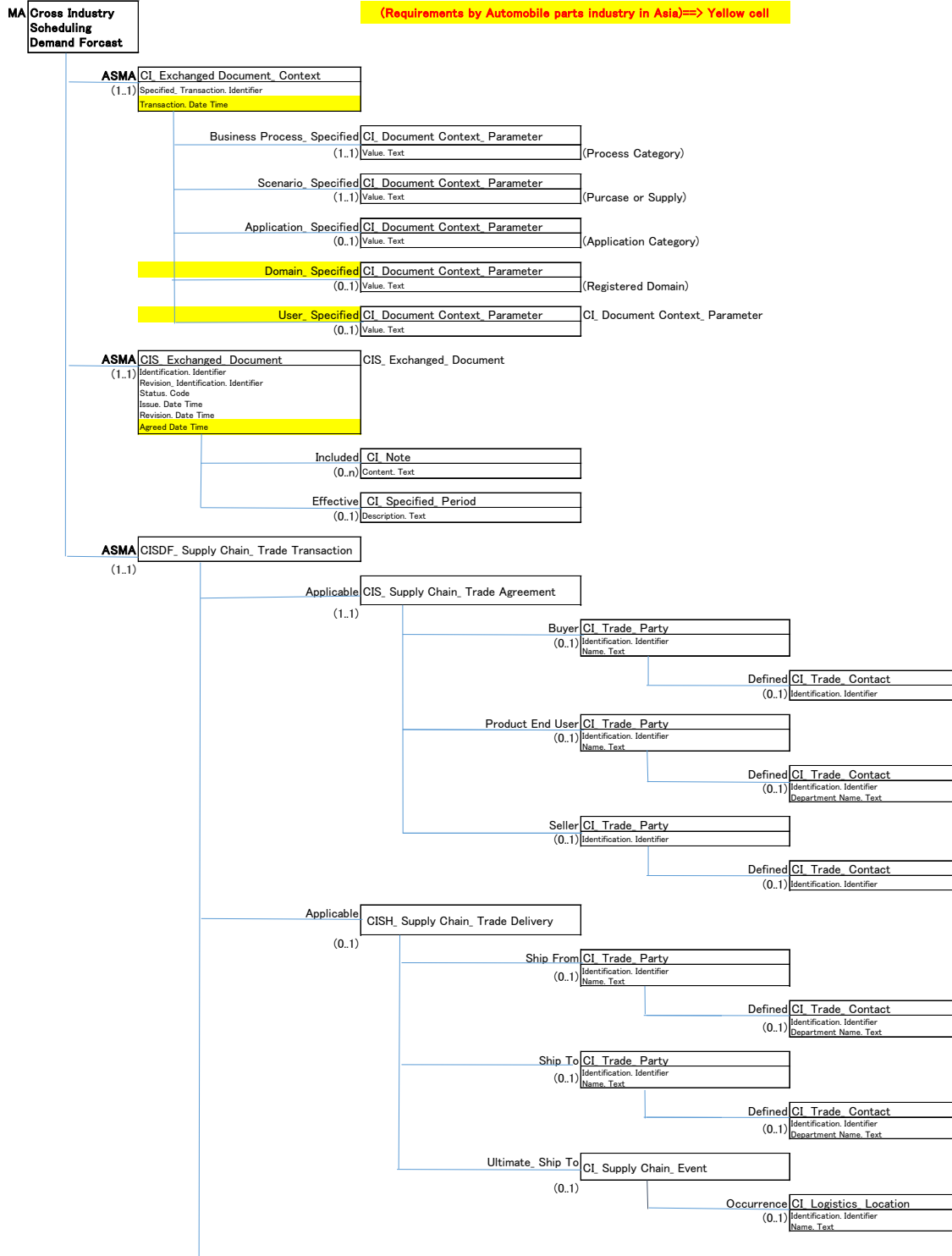
We agreed the requirements concept which we discussed during the meeting.

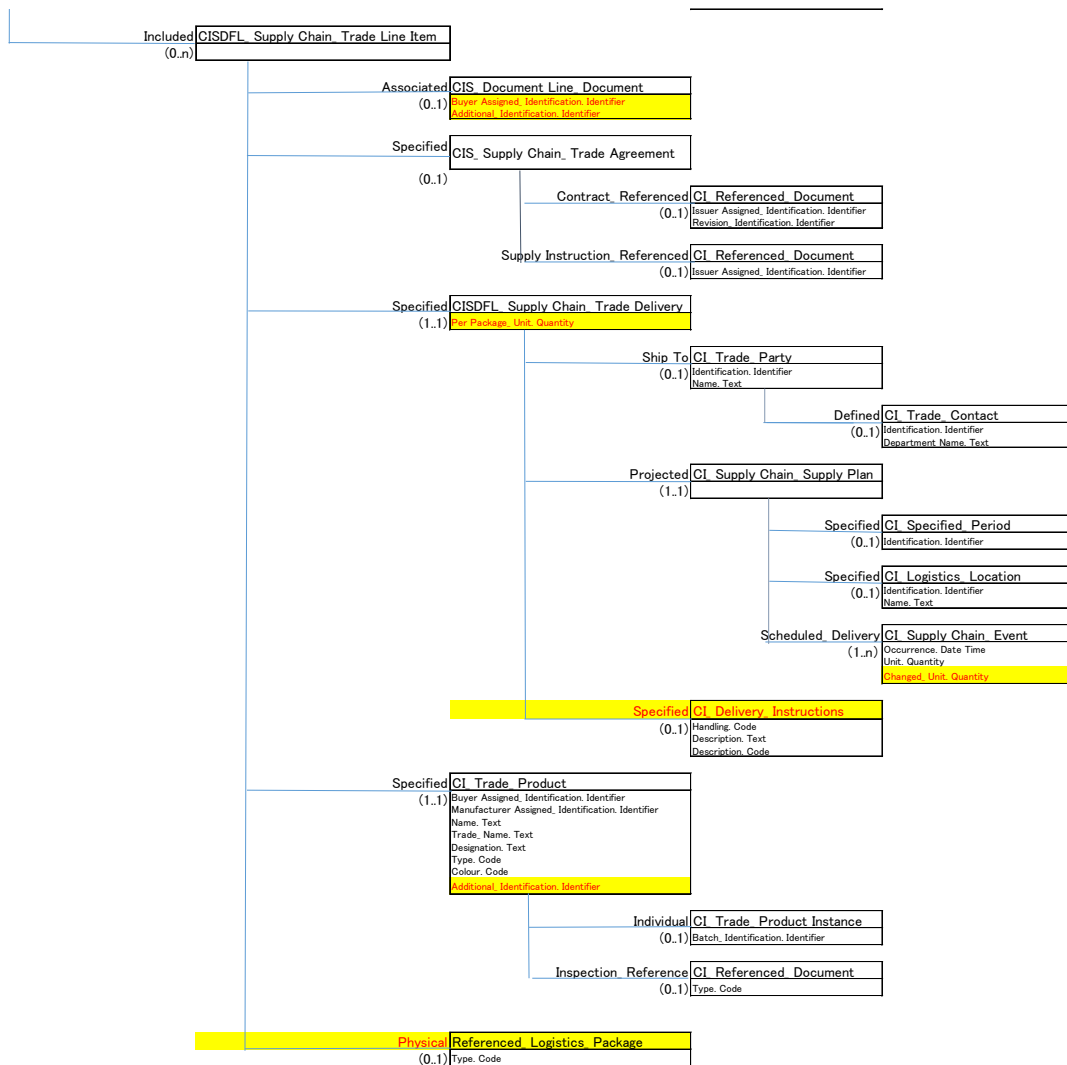
The project is still inception phase.

Requirement gathering phase will be finalized after we get 3 countries support.

After the finalization of the requirement gathering, the team will start to revise BRS and RSM.

Attachment 1 Demand Forecast

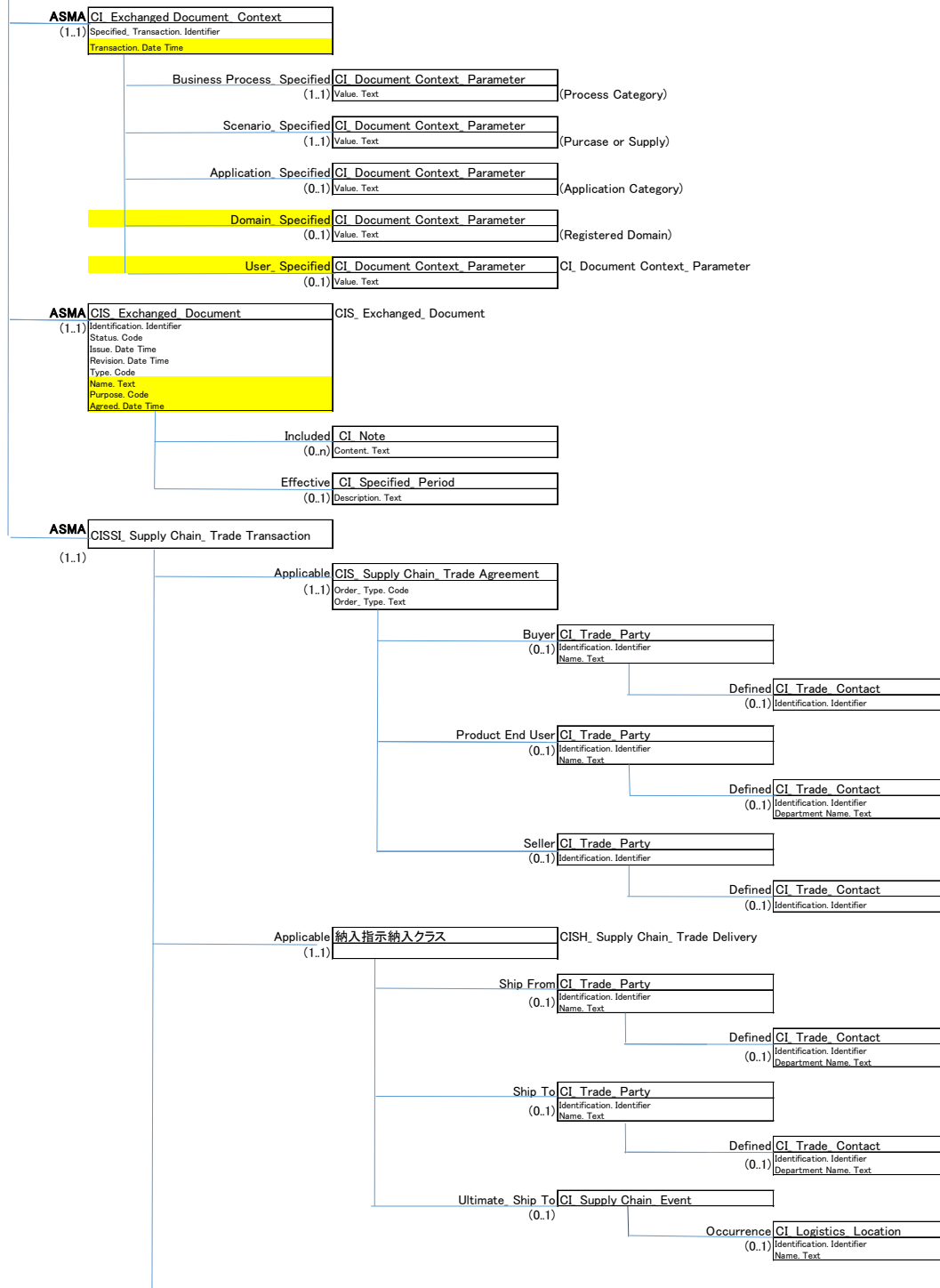


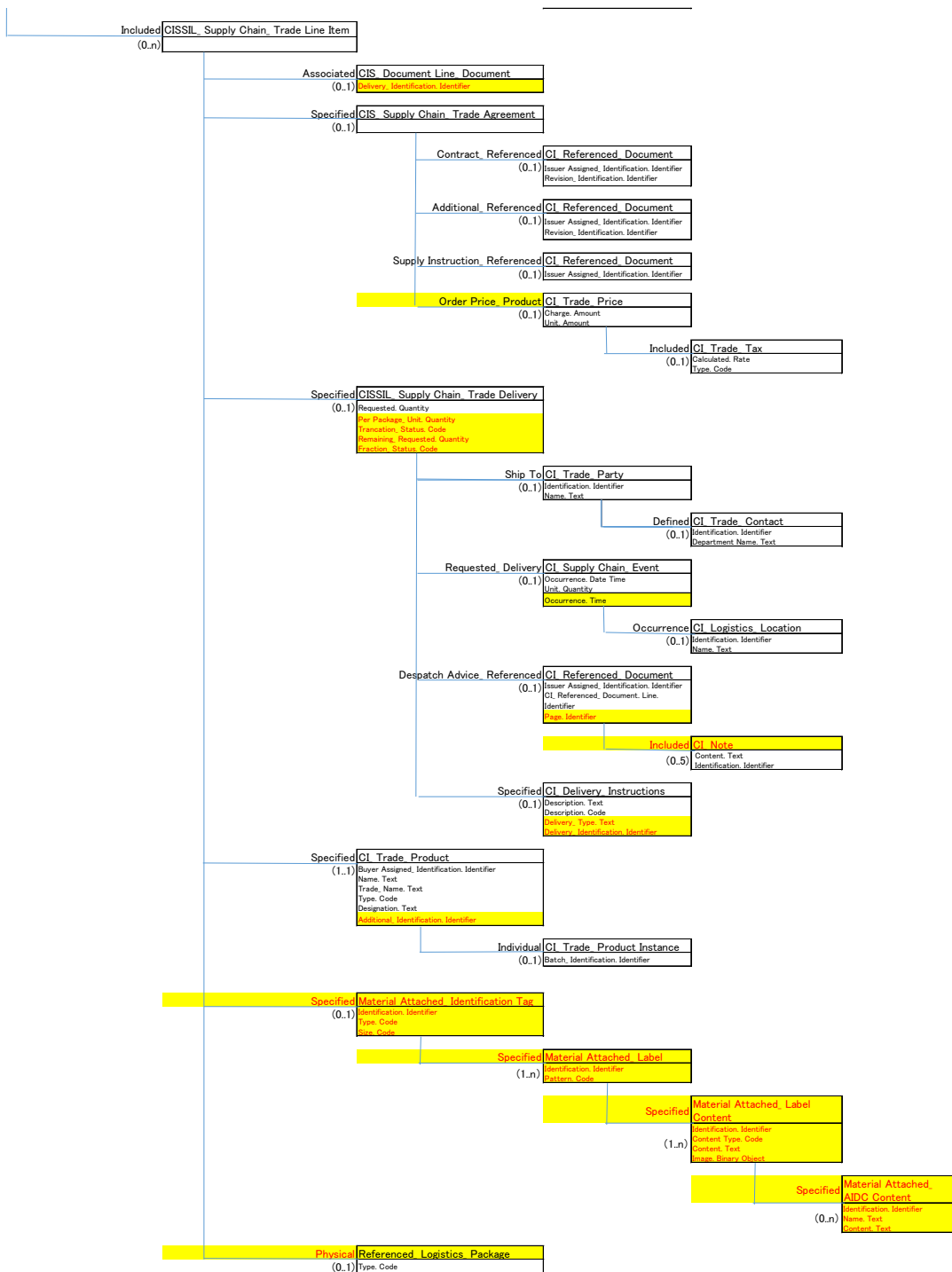


Attachment 2 Supply Instruction

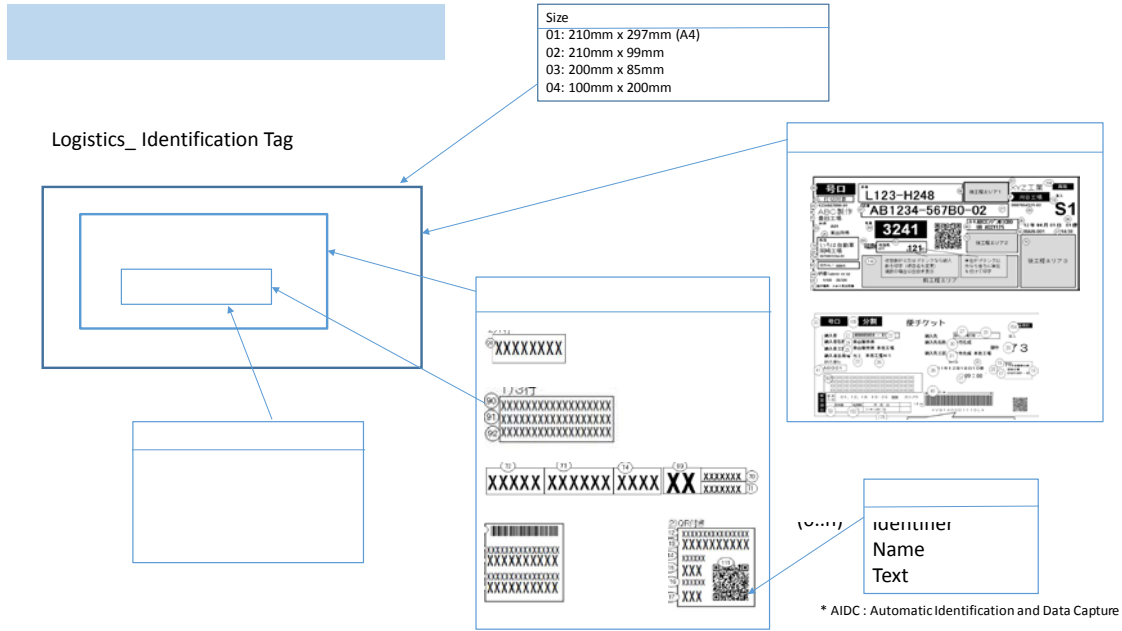
MA Cross Industry Scheduling Supply Instruction DELJIT

(Requirements by Automobile parts industry in Asia)⇒ Yellow cell





Attachment 3 Logistics_ Identification Tag



* AIDC: Automatic Identification and Data Capture